

## 教材・教具紹介カード

教材・ 教具等	わらべ歌あそび「東京都 日本橋」				区  分	1 健康の保持 ② 心理的安定 ③ 環境の把握 4 身体の動き ⑤ コミュニケーション
使用 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 触れ合って遊ぶことで、教師とのよりよい信頼関係をつくる。</li> <li>・ 体の様々な部位に触れられることに慣れる。</li> </ul>					
写真・ 図 ・ 材 料 等	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">歌詞</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">動き</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>①とうきょうと → 手のひらの上を、人差し指でさわる。</p> <p>②にほんばし → 人差し指と中指で、手のひらをさわる。</p> <p>③がりがりやまの → 手を返して、手の甲をガリガリひっかいて、くすぐる。</p> <p>④パンやさんと → 手を返して、手のひらを2回たたく。</p> <p>⑤つねこさんが → 手を返して手の甲をかるくつねる。</p> <p>⑥かいだんのぼって → 腕のほうへ、人差し指と中指でのぼっていく。</p> <p>⑦こーちょこちょ → わきのしたを、くすぐる。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>〈参考文献〉          「なにをしてあそぶ？わらべうた          目あそび・手あそび・足あそび」          佐藤美代子・編著 （草土文化）</p> </div>			
指導 への 活用 の 仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業のはじめに、雰囲気を盛り上げるときに歌う。</li> <li>・ 一人で座位が保持できる児童とは向かい合って、座位保持が難しい児童は抱っこ、または仰向けに寝た状態で指導した。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">〈何度か続けてみて、こちょこちょを期待するそぶりが見られるようになったら〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手のひら以外の場所からはじめる。(足, 顔, おなかなど)</li> <li>・ 最後の「こーちょこちょ」のときに、すぐにくすぐらずに、児童の表情を見ながらじらす。</li> </ul>					
その 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなで一緒にやるのも盛り上がりやすいが、児童の様子をしっかりと見たい場合は、静かな場所でやってみてもよいと思う。</li> </ul>					
記入者	佐々木	記入年月日	H15. 7. 31	保管場所	佐々木 (参考文献)	